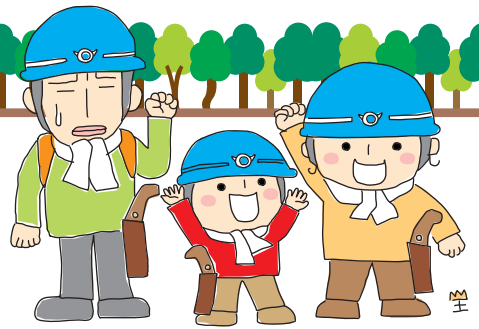


10月1日から31日は「びわ湖水源のもりづくり月間」です。

森へ行こう。木と話そう。

10月1日「びわ湖水源の森の日」に、滋賀県大津市の結いの森へ家族で間伐体験に行ってきた！森もあなたも元気になる「びわ湖の森づくり活動」初日の間伐体験のご紹介です。



間伐材でつくったひのきの名札記念にいただきました。自宅でコースターとして愛用。

森の中へ
 間伐作業場所は藤尾神社の奥、「結いの森・藤尾」(県有林)のヒノキ30年生の林分。3班に分かれて、1本ずつ伐採していくことに。ひのきでつくった名札を首にかけて、はりきつて出発！森の中にどんどん入って行くと、整備され やる気！ た道もなくなつて、足場の悪い急な坂道になつてきました。光が当たらない森の奥はひんやりしていました。

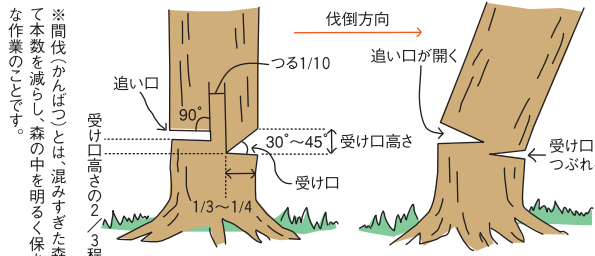


デザインもイラストもモデルもなんでもします

きっかけはお仕事から
 滋賀県の「びわ湖水源の森づくり月間」のポスターやチラシなど、広告の制作に携わったことをきっかけに、びわ湖の森づくり活動に参加してきました。



▲JR・京阪電車 駅貼りポスター



木の切り倒し方は、まず切り倒す方向(山側)を決め、逃げる場所を確保し、切り倒す方向に受け口を作り、反対側から追い口を切り、追い口が開いて「つる」ができるよう、ゆっくり倒していきます。

※間伐(かんばつ)とは、混みすぎた森林から曲ったり弱ったりしている木を伐つて本数を減らし、森の中を明るく保ち、残った木の成長を良くするために必要な作業のことです。



▲小学2年生の息子も間伐初体験。みなさん丁寧に指導してくださいました。

間伐初体験
 班長さんに木の伐り方の説明を受けた後、成長の悪い曲った木を選んで実際に間伐していくことに。はじめて使った「なた」は、思うように力が入らず、5~6回引ただけで息切れるほど大変でした。



感動を絵と文で届けるイラストライターこゆり

家族と一緒に木と話してみませんか？



名木の負傷

元気な森は、おいしい水やきれいな空気、たくさんの生き物を育み、私たちの生活を災害から守ります。10月はびわ湖水源の森づくり月間。この機会に、誰でも参加できる森づくり活動に足を運んで

林を知らう



▲高い所で枝が絡んで、切れているのになかなか倒れないヒノキ。みんなで力を合わせて、ロープで山側に引っ張りました。

森づくり活動についてのお問い合わせ先

〒520-8577 滋賀県大津市京町4-1-1 滋賀県 琵琶湖環境部 森林政策課 TEL.077-528-3918 FAX.077-528-4886

詳しくは、びわ湖の森づくりのことがわかるホームページ「森づくりコム」へ。 <http://morizukuri.com> 2007年10月末まで開設中

